

## &lt; 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	株式会社 まるきた	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護事業所たゆたふ
所在地	(〒960-8003) 福島市森合字屋敷中 15-8		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

住み慣れた地域で、「認知症になっても」「療養をしながらでも」「最期を家族と迎えることも」職員一丸となって支援しています。  
たゆたふでは、ほとんどの利用者様が体調を崩されることなく、在宅生活を送られています。  
医療依存度の高い利用者様を自宅で最期まで生活が送れるよう支援しています。  
自宅での生活困難者の受け入れを行っています。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 2 月 21 日	従業者等自己評価 実施人数	( 16 ) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2023 年 4 月 15 日	出席人数(合計)	( 9 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 ( ___ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 5 人) <input type="checkbox"/> 利用者 ( ___ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ( ___ 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ( ___ 人) <input type="checkbox"/> その他 ( ___ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
1. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	<p>毎年の事業目標に向け、職員一人一人が努力する。</p> <p>地域の方々と交流ができるようにする。</p>	<p>事業所の理念を職員一人ひとりが見る事ができるよう掲示し、理解できるようにした。</p>	<p>コロナ禍のため実施することができなかったことが多かったため、今後も継続して改善していく。</p>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11~27)	利用者様・ご家族様とのコミュニケーションを取り、柔軟にかつ迅速に対応できるようにしていく。	病院からの情報提供が多かったが、担当者会議や申し送り、カンファレンス等で情報共有することで、よりよいサービスを提供することができた。	利用者様・ご家族様の意向を聞き、ニーズを見つけ、柔軟にかつ迅速に対応できるようにしている。 朝・夕の申し送りやカンファレンス等で話し合い、周知徹底している。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28~31)	病院、他事業所との連携を継続する。	主治医や実態調査、入退院時等、医療機関との連携を図っている。	主治医とは訪問看護指示書をいただいているため、計画書・報告書等を通して連携を図っている。 入退院時の医療機関との連携を図っている。 役所等との連携も図っている。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)	認知症になっても療養しながらでも最期を家族と迎えることができるサービスであることを知ってもらい、地域の中で頼りになる事業所となるようサービスを提供する。	今年度はコロナ禍の影響で地域の方々と交流することができなかった。	コロナ禍が収束したら、地域の方々と交流する機会を作っていく。

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>様々なニーズに答えられるよう、職員のスキルアップや連携を図っていく。外部の研修に参加できるようにしていく。</p>	<p>家族面会時や担当者会議等で日頃の様子を伝え、ニーズがあれば対応している。月 1 回のカンファレンスでの研修を実施。外部研修にはコロナ禍のため参加できなかった。</p>	<p>情報を収集し、ニーズがあれば、柔軟かつ迅速に対応することができている。主治医の意見やご本人様・ご家族様の意向を反映できるよう情報収集していく。外部研修にも参加できるようにする。</p>
---------------------------------	--	--	---

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>医療ニーズの高い方や重度の認知症の方等の受け入れや看取りの希望など様々なニーズに答えることができた。</p>	<p>今年度、痰吸引の研修を実施したため、ニーズに答えることができるようになる予定。 外部研修にコロナが落ち着いたら、参加できるようにしていく</p>	
<p>Ⅱ. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>面会時、担当者会議等でコミュニケーションを図り、ニーズをみつけ対応している。 カンファレンスや毎日の申し送り等で情報共有し、ニーズに答えられるようにしている。</p>	<p>情報を共有し、迅速かつ柔軟に対応できるようにしていく。</p>
<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>協力病院やかかりつけ医とは訪問看護の報告や電話連絡等で連携を図ることができている。 医療機関とは地域連携室を通し、入退院時等連携を図ることができている。</p>	<p>病院や他事業所との連携は継続していく。</p>	
<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<p>コロナ禍のため地域の方々と交流はできなかった。</p>	<p>開かれた施設を目指し、いつでも相談に行けるなど地域の中で頼りになる事業所になるよう広報活動を行う。</p>	

III. 結果評価 (評価項目 42～44)	状態の変化に柔軟にかつ迅速に対応できている。 意向を把握し様々なニーズに答えるため、多職種で連携を図り 介護と看護の融合が少しずつできてきている。	職員全員で情報共有し、よりよいサービスが提供できるように していく。 様々なニーズに答えることができるよう職員のスキルアップ を図っていく。
---------------------------	---	---

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよ そでき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		13	3		<p>具体策や具体例がないため、評価しにくい。 特に⑤は評価しない。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 理念を掲げており、毎週月曜日に申し送り で唱和している。</p>	<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		13	3		<p>看取りを行っていることで家族・利用者が安心して生活できていることが理解できた。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 利用者、ご家族の生活を支えることができるよう努めている。</p>	<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	4	10	2		個人の希望を反映した育成計画を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> <li>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</li> </ul>
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		13	3		外部研修に行けるようになると思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</li> </ul>
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	13	3			情報を共有し、理解して支援されていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		13	3		<p>要望や助言はすぐに反映されていて良いと思うのでも今後も継続してください。</p>	<p>✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</p>
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> 今年度は運営推進会議が開催できなかったが、会議での要望・助言があれば、日々の業務内容に反映させている。</p>					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		14	3		<p>訪問した際、元気に明るく働いている方が多く見られ好感がもてる。 全ての職員が平等に配慮されているといいと思います。</p>	<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> ほとんど残業なく働けている。 休みも希望通りとっている。 家庭環境、力量や体調等によって業務変更し、無理なく就労できている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		15	2		迅速に情報共有が行われていると感じます。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 毎朝・夕の申し送りでカンファレンスを行い、利用者様の変化に迅速に対応している。改善内容等は伝達ノートに記入し、職員全員に周知している。					
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	3	13			ヒヤリハット・事故・苦情報告で改善方法など明記されており情報共有がされ、改善されていると思います。コロナ禍のため、感染予防は大切だと思います。利用者様が感染していないのはよかったです。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> リスク委員会を設置し、ヒヤリハット・事故・苦情報告を集計し、業務に役立っている。 感染委員会を設置し、予防・対策・勉強会等を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		13	3		ファイルの情報の更新を随時行うようにしてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</li> </ul>
<p><b>Ⅱ サービス提供等の評価</b></p> <p><b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b></p> <p><b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b></p> <p>① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施</p>							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	13	3			ご家族様と連携を密に取るようにしてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</li> <li>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント</li> </ul>



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	2	14			介護と看護の意見を取りまとめ、迅速に情報共有してください。	<p>が必要となります</p> <p>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</p>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		15	1		引き続き、ご本人と家族の考えを反映したケアプランをお願いします。	<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	13	3			日常生活の中で機能の維持が図れていることはよい事だと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</li> </ul>
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		14	2		介護と看護で情報共有ができていて、ケアプランにも反映されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</li> </ul>
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	2	14			すぐに対応できていると思います。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 状況変化があった際は、朝・夕の申し送り時に検討し、その日のうちに変更し対応している。 伝達ノートに変更点を記載し、職員全員に周知している。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	1	15			訪問看護が入ることで、ご家族も安心されていると思います。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 訪問看護が入ることで、身体状態の観察ができ、安心して生活できるようにしている。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	2	14			主治医と連携を図ることで迅速に対応できていると思います。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 訪問看護計画書、報告書を主治医へ報告している。 状況変化があった場合は随時報告し指示					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		を仰いでいる。 関係機関とは電話連絡等で情報共有して いる。					
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	12	4			各職種が協力し、柔軟に対応されていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</li> </ul>
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	12	4			情報共有ができており、よりよいサービスが提供されていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</li> </ul>
② 看護職から介護職への情報提供および提案							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復など の観点から、情報提供や提案 等を行っている	12	4			看護職から情報提供や指導 することで、介護職も安心し て業務にあたることができ ていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します</li> <li>✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割の 1つとして期待されます</li> </ul>
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく説 明し、利用者等の理解を得て いる	10	6			できるだけわかりやすく説 明してもらうことで、安心で きると思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します</li> </ul>
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅 での療養生活の継続に向け て留意すべき点等について、 分かりやすく説明し、利用者 等の理解を得ている	12	4			利用者様やご家族様に丁寧 に説明していると思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そ でき てい る	あま り で き て い ない	全 く で き て い ない		
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	5	11			わかるまで、丁寧に説明してください。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 利用者様、ご家族様に対し、ゆっくりとわかりやすく何度も理解できるまで説明している。 医療依存度の高い方のご家族様には、疾患の病状説明、経過を説明している。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	10	6			意向に添いながら、プランに反映しサービスを提供ができています。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 利用者様・ご家族様の意向を伺い、プランに反映している。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	9	7			家族にとって看取りまでしてもらえるのは、とてもありがたいと思います。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 重度化した場合や終末期については、ご本人様・ご家族様の意向をお聞きし、予後及び看取りまで話しをしている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者	14	2			主治医から病状説明しても	✓ 「予後および死までの経過の説

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い			
	等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 訪問看護・ケアマネから看取りケアについて詳しく説明し、看取りの同意書をいただいている。 主治医からも病状説明等を行ってもらっている。 記録は訪問看護で取っている。				らうことで、職員やご家族様も安心できると思います。	明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」	
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>								
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>								
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行								
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	10	6			<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 退院前カンファレンスには必ず参加し、病院と連携しスムーズに退院できるよう対応している。	病院と連携を図ってもらうことで安心することができると 思います。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有								
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる	2	14			<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 緊急時は訪問看護を窓口とし、主治医と連携を図っている。 予め、ご本人様、ご家族様の意向の確認	緊急時の対応方法ができていることは、本人、家族が安心できてよいと思います。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足  主治医等と相談・共有しておくこ とが重要です
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	14	2			緊急時の対応が決まっていれば安心です。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 24 時間対応可能な状況にあり、夜間も看護師へオンコールし、主治医へ連絡したりできる体制になっている。 地域の医療機関との連携も可能な状態。					
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		12	5			✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		14	2		いつでも、記録が見ることができるようになってきているのは良いと思います。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します。
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている			13		今年度はコロナ禍のため、しようがないです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</li> <li>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</li> <li>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</li> </ul>
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している		14	2		ぜひとも、地域の方のところへも訪問してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</li> <li>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		6	10		たん吸引ができることで、家族は安心できると思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				16		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
37	○ 「看取り支援」を必要とする	14	2			看取りまで行ってもらえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 在宅での看取りができるよう支援している。末期癌の方の受け入れもしている。				ことは家族にとって、とてもありがたいと思います。	充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している				16	勉強会等実施してください。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限				16	地域の方々にもっと知ってもらうことが必要です。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」につ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	<b>【具体的な状況・取組内容】</b> 地域の方の相談があった場合は積極的に受け入れしている。 地域に事業所を知ってもらうことが必要だと思っている。					いて、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている			10	6+	地域と情報交換を図り、協力して行ってほしいです。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対			4	12	公開講座等を行うことで、地	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 相談・指導等は随時行っている。 今年度はコロナ禍のため、具体的な取り組みは実施できていない。 コロナ禍が落ち着いたら、公開講座等を開催し、学習する機会を提供していきたいと考えている。				域の方々の力になると思います。	介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」 ✓

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない	目標に向かってともに頑張ってください。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> 利用者様、ご家族様の意向を聞きながら、達成できるような目標を設定している。 日常生活の中、できる能力を活かし、自立した生活を送れるよう目標にしている。</p>		
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> 訪問看護が入ることで、ご家族様・ご本人様も安心感を得ている。</p>	ほぼすべての利用者様が訪問看護を利用されているのは、とても安心できることだと思います。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない</p>	看取りを行ってもらえることは、家族にとってはありがたいことで安心することができると思います。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看護職員が中心となり、事業所全体で取 り組み看取りを行っている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</li> <li>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</li> </ul>